

第12、14回大会でグランプリ受賞 愛知県立豊橋工業高校の取組が新聞に掲載されました。

2016/03/01

第12、14回大会でグランプリ受賞 愛知県立豊橋工業高校の取組が新聞に掲載されました。

愛知県立豊橋工業高等学校生徒のアイディアを山善株式会社と連携して商品化された取組が中日新聞2016年（平成28年）2月25日付夕刊で紹介されました。

中日新聞 2016年（平成28年）2月26日付夕刊掲載

※この記事・写真は、中日新聞の許諾を得て転載しています。

発明扇風 日本の夏に吹け



豊橋工業高校の生徒3人が考案した「足で操作できる扇風機」が、この春、全国発売されることになった。「扇風機」と母語に吹かれた経験豊富な手に取った先輩のアイデアを受け継いで開発。かかまに操作でき、足腰の弱いお年寄りにも優しい製品になった。お母さん、これなら文句ないでしょ！

（小原健志）

豊橋工業高先輩の案を発展
三人は電子機械科三年の今、卒業研究に当たる課題研究で、原研一さん（左）、鈴木崇宏さん（中）、今原拓海さん（右）。製品名は「あしむらびん」。

「足で操作」全国発売へ

愛知県豊橋市の豊橋工業高校の生徒三人が考案した「足で操作できる扇風機」が、この春、全国発売されることになった。「扇風機」と母語に吹かれた経験豊富な手に取った先輩のアイデアを受け継いで開発。かかまに操作でき、足腰の弱いお年寄りにも優しい製品になった。お母さん、これなら文句ないでしょ！

（小原健志）

豊橋工業高先輩の案を発展
三人は電子機械科三年の今、卒業研究に当たる課題研究で、原研一さん（左）、鈴木崇宏さん（中）、今原拓海さん（右）。製品名は「あしむらびん」。

「あしむらびん」。通称は「足の上」で操作する小久保寿也教諭（左）がメーカー・教社に売り込める前に配置し、つま先で押すようにした。「足専用」を打ち出すことで、マナーもが興味を持ちやすい形。心が安堵のため、安全審査が厳しくなる。「踏み付けると音がする」は既製品以上の強度が必要。原研一さん（左）のアイデア。原研一さん（左）が母語に耳をされた。製品化までに至らなかった。これらの問題を克服する

ため、三人はアイデアを改良し、体積計の前面にあるボタン式のスイッチを足で押し、操作する体積設計に替えた。体積設計の外装を使って試作してみると、ボタンに体積がからず、デザインもシンプルになった。昨年6月に山善工業株式に持ちこんだ。商品化が決まった。

山善家庭機器事業部の川辺一馬さん（右）によれば、リモコンが付いている扇風機でも本体側のボタンを操作する人が多く、結局は「つい足で」といってことも多いが、「発想が斬新。足での操作は社内でも話題になり、一定の販売が見込めると思った」と太鼓判を押す。

台座の先に五つのボタンが張り出すデザインは「先輩が考えた足形の要素も入っている」と今原さん。今原さんも「インパクトのある足形のデザインを見て、開発を加速させてくれたので、形を考慮してくれて良かった」と話す。

四月上旬から全国の家電量販店やホームセンターなどに並ぶ。オープン価格のため、三人はいくらで販売されるのか知らない。鈴木さんは「早く店頭で売るのがいい。気になって売り場をずっと見てしまつてもいいけれど」と笑顔を見せた。

強度に課題

昨年の卒業生の案



横にボタン

今年の3年生の案

